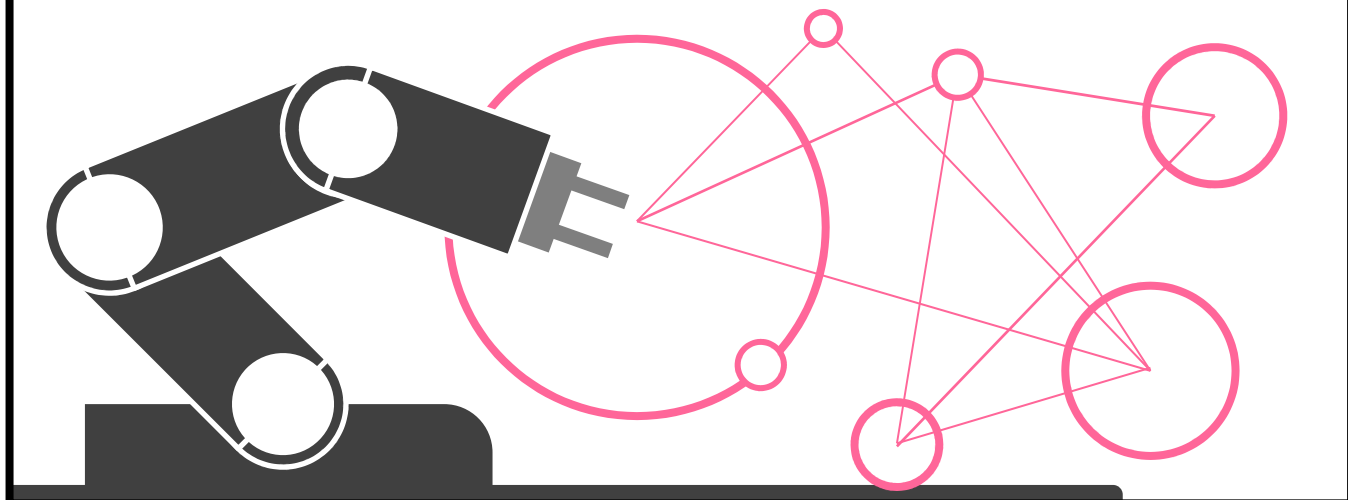


令和2年度山形県ロボット導入促進人材育成事業

デジタルものづくり推進人材 育成研修（追加募集）

基礎
コース
定員20名



やさしく、かんたんで、 中小企業が継続できる生産カイゼンを学びます。

中小企業が生産カイゼンに取り組むためには、現状を分析する前に、現状を整理すること、見える化することが効果的です。見える化といっても、IoTやデジタルではなく、映像を記録して配置図や工程フロー図を作るだけなので、やさしく、かんたんです。

そこで、全国において生産改善指導をして実績を挙げている株式会社バイ・アール・テクノセンターが、カイゼンのノウハウを初歩的などころから指導します。

研修では、配置図や工程フロー図（既に会社にあるもの、工場の建築図面や作業の手順書でも構いません）をもとに、工場の配置図や工程フロー図をどう作成すればよいかを具体的に指導します。

工場の配置図や工程フロー図ができると、生産カイゼンが前進し、IoTやロボット導入イメージも広がります。継続できる生産カイゼンを学びたい方にお勧めです。ぜひご受講ください。

日程：令和2年

9月7日(月)~8日(火)

受講料：

15,000円

申込み締切：令和2年

8月26日(水)

※先着順

講師：

株式会社バイ・アール・テクノセンター

デジタルものづくり推進人材育成研修 基礎コース 募集要項

| | |
|--------------|--|
| 目 的 | デジタルツール（ロボット、IoT等）の導入前に必要となる、工場の配置図や工程のフロー図作成による製造現場の「見える化」等について学び、現場改善とデジタルツールをつなぐ人材を育成する。製造現場に産業用ロボットを導入するために必要な能力や知識等を習得する。 |
| 日 時 | 第1日 令和2年9月7日（月） 9：00～16：30 第2日 令和2年9月8日（火） 9：00～16：30 |
| 会 場 | 山形県工業技術センター 講堂 （山形市松栄2-2-1） |
| 講 師 | 株式会社ブイ・アール・テクノセンター |
| 受講対象 | <input type="checkbox"/> デジタルツール（ロボット、IoT）導入を検討する企業の若手 <input type="checkbox"/> 将来的に生産カイゼン活動や生産技術部門のリーダーを目指す者 PCが操作でき、Microsoft Office（エクセル、ワード、パワーポイント）の図形描画ツールが使えることが必要です。 |
| 持 ち 物 | <input type="checkbox"/> 自社の工場の配置図、工程フロー図（各7部） * デジタルツールを導入する時は、自社の工場でどのような生産をしているかを相手にうまく伝えることが必要です。そのため、工場の配置図、工程フロー図を使って、受講生の間で、説明し合う実習を予定しています。 研修の中で、工場の配置図や工程フロー図をどう作成すればよいかを具体的に指導しますので、特別に作成して研修に臨む必要はありません。 <input type="checkbox"/> Microsoft Office (Word、Excel、Power Point)、Free CAD*がインストールされたパソコン * Free CAD は、無料の3次元CADです。 研修内で操作方法を紹介しますので、事前の操作練習は不要です。 ダウンロードURL https://www.freecadweb.org/ |
| 特記事項 | 研修では、自社の工場の配置図、工程フロー図を使ったグループ演習を行います。研修中に知った他社の情報を漏洩したり、無断で転用したりしないようお願いいたします。 |
| 定 員 | 20名 |
| 申込資格 | 山形県内の事業所に勤務する者 |
| 申込締切 | 令和2年8月26日（水）※先着順 |
| 受講料 | 15,000円 |
| 受講手続 | 別紙受講申込書をFAXしてください。（FAX：023-647-3139） 後日、受講決定通知書と県の納入通知書をお送りします。 |
| 納入方法 | 受講料は、納入通知書を添えて所定の金融機関の窓口で納付ください。 なお、納付いただいた受講料は、原則としてお返しできませんのでご了承ください。 |
| 修了証書 | 所定の課程（研修時間70%以上の出席）を修了した方には、修了証書が授与されます。 |
| 申込み・ 問合せ先 | （公財）山形県産業技術振興機構 プロジェクト推進課 遠藤 大志/齋藤 洋 〒990-2473 山形市松栄二丁目2-1 （山形県高度技術研究開発センター内） TEL：023-647-3163 FAX：023-647-3139 |

デジタルものづくり推進人材育成研修 基礎コース 研修カリキュラム

| 月日 | 時間 | 内 容 | | 講 師 |
|-------------|---------------------|-------------------|---|---|
| 9月7日 (月) | 9:00 ～ 12:00 | 生産 カイゼン の基礎 | <ul style="list-style-type: none"> ●ロボット、IoTを活用したカイゼンの基礎 1) カイゼンの流れと必要性 2) ロボット・IoT導入の基礎知識 | (株)ブイ・アール・ テクノセンター 横山 考弘 氏 清水 章博 氏 |
| | 13:00 ～ 16:30 | | <ul style="list-style-type: none"> ●生産カイゼンの現状分析演習 1) 現状分析 2) 工場の配置図 3) 工程フロー図 4) 生産改善ヒアリングシート | |
| 9月8日 (火) | 9:00 ～ 12:00 | カイゼン 構想の 作成 | <ul style="list-style-type: none"> ●生産改善構想の作成演習 1) 5S改善 2) ロボット導入改善 3) IoT導入改善 4) 要求仕様 5) 投資予算化 | |
| | 13:00 ～ 16:30 | | <ul style="list-style-type: none"> ●3Dモデルによるロボット導入構想図の作成 1) FreeCADの基本操作 2) FreeCADによる3Dモデル作成 | |

< 本研修の受講にあたり、下記事項についてご承知ください >

1. 受講者が研修施設及び器具等を故意または重大な過失により破損した場合には、その損害については、賠償していただくこととなります。
2. 研修中に発生した一切の傷病については、県および機構は責を負いかねます。
3. 新型コロナウイルス感染予防のため、換気や消毒へのご理解をお願いします。受講者各位におかれては、マスク着用と手洗いの徹底をお願いします。また、研修の延期、中止等の緊急対応を行う場合がありますのでご了承ください。
4. 本事業は厚生労働省の雇用開発支援事業費等補助金を活用しており、事業の目標を設定し成果として報告する必要があるため、**研修実施後に次の項目について聴き取りを行います**ので予めご了承ください。
 - ・受講者名、受講者性別、年齢、セミナー受講日、受講企業への就職者名・性別・業種・就職年月日(対象となる就職者はロボット関連部署への配置された者)、ロボット導入件数及び台数。
 - ・調査期間は受講した年度から3年間(2～3回/年程度)。